

赤い羽根福祉基金 2025 年度助成事業

助成先団体活動概要



赤い羽根
福祉基金

社会福祉法人 中央共同募金会

目次

新規助成先団体

助成番号	団体名	助成事業名	ページ
25B-1	特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ	中高生向け LGBTQ 教育プログラムを、地方のセンターにも 広げ、地方の LGBTQ の孤独・孤立を防ぐ活動	5
25B-2	特定非営利活動法人 未来 ISSEY	長期入院・療養中の高校生の学びを止めないための協力体 制構築事業	
25B-3	一般社団法人 Life is	重症児者とその家族及び地域住民がともに過ごし、互いにエ ンパワーメントし合える多機能型複合施設事業	6
25B-4	認定特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・コモンズ	すべての子が学ぶ機会を得られる未来を紡ぐ教室を多様な 主体の協力とネットワーキングで作り出す事業	
25B-5	特定非営利活動法人 Wisa	不登校・ひきこもりのテレワーク就業推進のためのメタバース 開発とデジタル・ユースワーク	7
25B-6	特定非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター	家族関係が悪く学業継続が困難になっている学生に対し、 生活の場を提供し学業継続を支援するための活動	
25B-7	特定非営利活動法人 じっくらあと	災害復興期を生きる子どもたちへの包括的支援に向けた「出 張ラボ」活動及びモデルづくり	8
25B-8	特定非営利活動法人 京都子育てネットワーク	子育てのスタートを地域のつながりで支え合い、ママの元気を チャージする産後デイスティ事業	

継続助成団体(2年目)

重点助成「生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成」

助成番号	団体名	助成事業名	ページ
24A-1	特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち	少年院での、プロの芸術家による表現ワークショップを通じた、生きづらさを抱える若者のための心のケアと自立支援事業	9
24A-2	社会福祉法人 巢立ち会	思春期・青年期の若者に対するシームレスな支援体制構築事業	
24A-3	特定非営利活動法人 パノラマ	働く不安の強いひきこもりや、サポートを必要とする高校生のための支援付き無料職業紹介バイターン普及事業	10

一般助成

助成番号	団体名	助成事業名	ページ
24B-1	特定非営利活動法人 WorldOpenHeart	再犯防止と高齢者が安心して暮らすことができるための高齢犯罪者とその家族の相談支援	10
24B-2	認定特定非営利活動法人 キッズドア	子どもの貧困問題の根本的な解決のための実践的研究と情報発信	11
24B-3	一般社団法人 びじっと・離婚と子ども問題支援センター	多くの子どもが親子交流支援を受けられるための、小規模親子交流支援団体のサポート体制構築事業	
24B-4	特定非営利活動法人 フェアスタートサポート	児童養護施設等で暮らす子ども達・退所者の為に施設と企業が連携し地域で就労を支援する体制整備の全国展開	12
24B-5	特定非営利活動法人 ひだまり創	要支援・要介護高齢者や認知症高齢者が持つ技術をつなぐ、地域単位でのマッチング支援の仕組みづくり活動	
24B-6	認定特定非営利活動法人 LivEquality HUB	公的支援からこぼれる母子家庭のハイリスク層転落防止に重点を置いた、住まいを起点とした地域基盤構築活動	13
24B-7	特定非営利活動法人 アイキャン	住民主体の多文化共生地域福祉の推進と先進的な事例を波及させる手法開発のための実践研究	

継続助成団体(3年目)

重点助成「生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成」

助成番号	団体名	助成事業名	ページ
23A-1	特定非営利活動法人 アクセプト・インターナショナル	困窮状態にあり孤立し、犯罪に繋がる恐れのある若者のための緊急居住支援、および相談・生活支援を含む社会定着支援事業	14
23A-2	特定非営利活動法人 チェンジングライフ	自立援助ホームを起点とする包括的シェルター基盤整備事業	
23A-3	特定非営利活動法人 Community Life	生きづらい若者が「学び直し」できる夜間教室開設事業	15
23A-4	特定非営利活動法人 抱樸	十分な社会的スキルを得ないまま「高校卒業」する若者たちへ社会参加や就労等の支援を行う事業	

一般助成

助成番号	団体名	助成事業名	ページ
23B-1	一般社団法人 栃木県若年者支援機構	「世界にひとつだけのサステナブルリメイク」事業を通して、8050 問題当事者の就労に繋がる出口を作る	16
23B-2	特定非営利活動法人 さいたまユースサポートネット	ヤングケアラーの子ども・若者を地域で発見し、支えるためのネットワークづくり事業	
23B-3	一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク	NPO が「誰一人取り残さない SDGs」の達成に向けた活動を他組織と連携して実施するための対話とエンパワメントを重視した調査研究事業とその結果を活用した NPO 研修開発事業	17
23B-5	特定非営利活動法人 多様な学びプロジェクト	不登校の子と保護者を支える居場所運営者の為の研修サイトとプログラム開発、及び地域ネットワーク構築事業	18
23B-6	認定特定非営利活動法人 びーのびーの	産前産後の子育て家庭を支えるための地域版セーフティネット創出のための活動	
23B-7	一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ	社会との連携モデルによる仕事と治療の両立支援体制を社会システムへと定着させるための基盤づくり事業	
23B-8	社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会	インクルーシブデザイン思考を用いた多分野協働による地域共生社会推進事業	19
23B-10	特定非営利活動法人 岡山 NPO センター	困難を抱える子ども・家庭の支援に取り組む支援者が持続的に働くためのメンタルケアを含む働く支援者支援のネットワーク形成活動	



赤い羽根
福祉基金

赤い羽根福祉基金 新規助成先団体

助成番号	25B-1	
団体名	特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ(大阪府)	
団体 HP	https://nijirodiversity.jp/	
助成事業名	中高生向け LGBTQ 教育プログラムを、地方のセンターにも広げ、地方の LGBTQ の孤独・孤立を防ぐ活動	
助成決定額	948 万円	
団体の目的と事業内容	LGBTQ 等の性的マイノリティとその家族、アライ(同盟者・支援者)の尊厳と権利を守り、誰ひとり取り残さない社会の実現に貢献するために、データ・事実・地域での実践を蓄積し、広く情報発信して、ビジネス活動・公共政策・法律を変えていくことをミッションに、常設の LGBTQ センター「プライドセンター大阪」の運営や LGBTQ に関する社会教育や調査研究、リソースサイト NIJI BRIDGE の運営などを実施している。	
助成事業概要	「地方の LGBTQ の孤独・孤立」と「地方で LGBTQ に関して学べる場所がない」という課題に対して、プライドセンター大阪での中高生向け教育プログラムの改善を図るとともに、地方の LGBTQ センターでも同様のプログラムができるようにすることで、地方の LGBTQ センターの持続を支え、次世代への社会教育を通じて LGBTQ が孤立せずに生きることができる社会の基盤をつくる。	

助成番号	25B-2	
団体名	特定非営利活動法人 未来 ISSEY(香川県)	
団体 HP	https://miraissey.com/	
助成事業名	長期入院・療養中の高校生の学びを止めないための協力体制構築事業	
助成決定額	450 万円	
団体の目的と事業内容	香川県において病弱児とその家族が希望をもって生活でき、将来その子どもたちが社会で活躍する環境を創ることを目的に、県内の各機関が連携し、病弱児を孤立させない・学びが途絶えない支援体制を根付かせることをミッションとする。入院中の子どもたちに向けたイベントの実施や、病室で授業を受けられるような学習ロボットの貸し出し事業、ボランティアを中心とした学習支援等をはじめ、社会に向けて病弱児に関する冊子の配布や啓発イベント等を実施している。	
助成事業概要	病気療養中の高校生が、在籍校で休学や退学を余儀なくされる課題に対して、セミナーの開催、啓発活動、支援者ミーティング、当事者アンケート調査を通じて行政や教育機関、支援者との連携を強化し、各地域で協賛団体を募ることで継続的な支援と協力体制の強化を図る。これにより、対象者が必要とする際に、スムーズな学校復学や心のサポートを受けられる環境を整え、病気を抱える高校生が学び続けられる社会の実現を目指す。	

助成番号	25B-3	
団体名	一般社団法人 Life is(東京都)	
団体 HP	https://lifeis-llc.com/	
助成事業名	重症児者とその家族及び地域住民がともに過ごし、互いにエンパワーメントし合える多機能型複合施設事業	
助成決定額	1000 万円	
団体の目的と事業内容	「日常生活の景色を多様にする」をビジョンに掲げ、重症児者とそのご家族が自然な形で地域の中で対等な市民として生活し続けられるような取り組みを行う。2023 年グッドデザイン賞受賞の「+laugh」(多摩市)という事業所に駄菓子屋やフリースペースを併設する形で、福祉事業書を地域に開き、多くの人との出会いを生み出している。また、重症児の母親が働きたくても働けないという課題解決のために、「Laugh Kitchen」というカフェを運営し、重症児の母親を雇用している。	
助成事業概要	医療的ケア児者やその家族及び家庭内に何かしらの課題を抱えている地域住民に対して、医療型特定短期入所及び家庭生活を維持していくために自分自身をエンパワーメントするための一時休息場に加え、地域住民同士が緩やかに繋がりが合い、時には団らん風景も生み出していくことが出来るコミュニティダイニングと自分の時間に没頭できる私設図書館のような本屋が併設した多機能型複合施設を提供し、新たなコミュニティづくりや地域住民の QOL 向上に向けた取り組みを実施する。	

助成番号	25B-4	
団体名	認定特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・コモンズ(茨城県)	
団体 HP	https://www.npocommons.org/	
助成事業名	すべての子が学ぶ機会を得られる未来を紡ぐ教室を多様な主体の協力とネットワークで作り出す事業	
助成決定額	1000 万円	
団体の目的と事業内容	茨城県域での市民活動に関する相談支援、NPO 等の活動基盤づくりに関する運動に取り組む。生活困窮者、被災者、外国籍住民など、生きづらさを感じている人々への相談、就労、居住に関する支援や外国ルーツの子どもの保育、教育、キャリア支援事業を実施。緊急一時支援施設での要支援者の受け入れや、制度外福祉の創造を通じて、世の中になくサービスを課題の当事者と共に作り出し、支援のネットワークづくりに取り組む。	
助成事業概要	茨城県において、在留資格や宗教的背景、来日年齢により小中高での教育が受けられない、または入学できても退学してしまう子どもが多い現状に対して、地域の市民ボランティアたちの横のネットワークをつくと共に、多文化ソーシャルワークの担い手を地域に増やし、県内の学習支援団体、教育行政、外国籍コミュニティが課題を共有し、3 者の協力によって適切な教育の機会、新たな教育の場をつくり、誰もが日本で学ぶ権利と社会の一員となる権利を保障される地域をつくることを目指す。	

助成番号	25B-5	
団体名	特定非営利活動法人 Wisa(大阪府)	
団体 HP	https://wakamono-isa.com/	
助成事業名	不登校・ひきこもりのテレワーク就業推進のためのメタバース開発とデジタル・ユースワーク	
助成決定額	397 万円	
団体の目的と事業内容	2009 年より、『「違い」を価値観に変える』という理念のもと、不登校・ひきこもり等の若者の孤立防止と社会参加を目的として、テレワーク(ICT)を活用したボランティアや就業支援の機会創出に取り組む。Wisa では、若者の自立/自律目標を「自律型キャリア開発」に置き、主体的にボランティアに取り組むデジタル・ユースワークを普及している。	
助成事業概要	毎年増加する不登校・ひきこもり状態の青少年とその家族の多くは孤立し、悩みを抱え将来に不安を抱えている。社会から孤立していた不登校・ひきこもり当事者とその家族がテレワーク就業をきっかけに、社会的な価値を創出する主体となる教育制度をメタバースで実現することを目的に、本助成事業では、特に一般的な通学・就職と異なる進路を取ろうとしている青少年とその親を対象に、テレワークを活用した自営型の就業支援に特化したオンライン教育プラットフォーム(メタバース)を創造する。	

助成番号	25B-6	
団体名	特定非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター(北海道)	
団体 HP	https://cmtwork.net/	
助成事業名	家族関係が悪く学業継続が困難になっている学生に対し、生活の場を提供し学業継続を支援するための活動	
助成決定額	992 万円	
団体の目的と事業内容	子どもから高齢者までを対象に、生活・仕事・活動(あそび・スポーツ・芸術文化)にかかわるプログラム提供をとおして共生コミュニティの再創のための課題に対する調査研究や人材育成を進め、すべての人が共に豊かに生きることのできる社会の形成を目的とする。生活困窮者自立支援制度の基づく各種事業の運営、新たな住宅セーフティネット制度に基づく居住支援法人の活動、市民活動プラザの管理運営、子育て・親育て支援に取り組む。	
助成事業概要	家族関係が悪く、避難が必要な学生に対して、緊急避難場所、学生向けシェアハウス等、安定的な住まいの確保の支援や学業継続に向けた支援を行うとともに、学生支援ネットワークの構築を目指す。また、札幌市、大都市において学校関係者や学生等にヒアリング調査やアンケート調査を行い、家族関係が悪く学業継続が困難になっている学生の状況を明らかにし、現状の課題・必要な支援策等を報告書にまとめ、政策提言する。	

助成番号	25B-7	
団体名	特定非営利活動法人 じっくらあと(石川県)	
団体 HP	https://jikkurato.com/	
助成事業名	災害復興期を生きる子どもたちへの包括的支援に向けた「出張ラボ」活動及びモデルづくり	
助成決定額	825 万円	
団体の目的と事業内容	地域で育つ子どもたちに対して、一人ひとりが安心して過ごせる居場所づくり、多様な学びや生き方に触れる経験、ごちゃまぜまるごとの支え合いを行い、日々の生活への些細な期待を感じる心や、将来の自分を主体的に考える心を育むことができる地域を子どもたちと共に実現することを目的とする。石川県輪島市で、わじまティーンラボ(10 代の子どもたちの居場所)や子ども相談窓口、生きる力を育む授業(講演授業やワークショップ)等の活動に取り組む。	
助成事業概要	令和 6 年能登半島地震及び奥能登豪雨により甚大な被害を受けた石川県輪島市において、従来からの超少子高齢化地域での生活課題に加えて、震災に起因する様々な困難下におかれる子どもたちに対し、学校医等の多職種のケアワーカー及び地域住民が、「出張ラボ」として、学校へアウトリーチを行うことを通じて、包括的・継続的な支援を届けると共に、地域で子ども・学校を応援するモデルづくりに取り組む。	

助成番号	25B-8	
団体名	特定非営利活動法人 京都子育てネットワーク(京都府)	
団体 HP	https://www.kyotokosodate.net/	
助成事業名	子育てのスタートを地域のつながりで支え合い、ママの元気をチャージする産後デイスティ事業	
助成決定額	549 万円	
団体の目的と事業内容	乳幼児(妊婦含む)の子育て家庭が孤立することなく、より豊かに暮らせるよう、循環型の子育て相互支援社会づくりに寄与することを目的に、京都市乳幼児親子のつどいの広場の運営や 0 歳児の親子対象の「京都子育てスクール」の開催、子育て支援関連研修や子育て支援のためのファシリテーター養成講座など、子育て支援事業を実施している。	
助成事業概要	産後ママの心身の不調と孤立予防に向けて「産後デイスティ」を行政・関係機関・地域・企業が連携し、新たな資源を生みながら母子を中心に地域全体で育ち・支え合える環境づくりを目標とする。産後ママにとっては、心身の不調、孤立感・不安感を緩和し、周囲の資源を活用する良さを体験することで、子育てのスタートを健やかに乗り切る契機となり、継続的な開催により、地域の子育て情報を顔が見える関係で伝え続け、持続的な交流の促進につなげる。また、地域で「産後デイスティ」を定期的開催することで、子育てを応援することを身近に感じ、温かな地域形成を促進することを目指す。	



赤い羽根福祉基金 継続助成先団体(2年目)

24A-1	助成プログラム	生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成
団体名	特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち(東京都)	
団体 HP	https://www.children-art.net/	
助成事業名	少年院での、プロの芸術家による表現ワークショップを通じた、生きづらさを抱える若者のための心のケアと自立支援事業	
助成決定額	500 万円	
団体の目的と事業内容	多様な価値観・考え方・身体感覚を持つ人々が共生する社会を創出するため、子どもたちとアーティストとの出会いを通じて、創造的な学び・遊びの機会を作り出すことを目的とし、公立小中学校・幼稚園・保育園・特別支援学校・児童養護施設等へのアーティスト派遣ワークショップ事業を実施する。なお、この交流は子どもたちが自身の持つ力を存分に発揮し、伸ばしていく機会となることも目指す。	
助成事業概要	少年院の、知的障害・発達障害・被虐待経験等のある入所者の増加による個別支援の課題に対して、表現とコミュニケーションのプロであるアーティストによる表現ワークショップを実践し、若者の表現力・創造力・自己肯定感やコミュニケーション能力等を育成することで、心理面から自立を支援する。出院後の厳しい現実を乗り越えていく精神的な強さや、支えてくれる人たちと関係性を築いていく力を身に付け、若者が再犯や孤立に陥らずに、将来に希望をもって生きる糧とする。	

24A-2	助成プログラム	生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成
団体名	社会福祉法人 巣立ち会(東京都)	
	https://sudachikai.eco.to/index.html	
助成事業名	思春期・青年期の若者に対するシームレスな支援体制構築事業	
助成決定額	500 万円	
団体の目的と事業内容	メンタルヘルスの不調を抱える若者や学習困難、集団への不応適などの生きづらさを抱えた若者が制度の壁によって支援を分断されたり、支援を受けられなかったりすることがないよう、継ぎ目のない若者支援の仕組みを構築することを目的とし、教育と医療・福祉関係機関の連携や相談窓口の充実に関する事業を実施する。	
助成事業概要	不登校やひきこもりなど、生きづらさを抱え、支援を必要とする若者が、年齢の壁で支援が分断されたり、制度の狭間に落ちて支援を受けられなかったりすることがないよう、各分野の連携構築を促進し、また、子どもから大人への移行期の大切な時期を迎える思春期・青年期の若者に居場所の提供や手厚い個別支援を継ぎ目なく提供することで、すべての若者が自分らしく生きていくための支援体制を構築する。	

24A-3	助成プログラム	生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成
団体名	特定非営利活動法人 パノラマ(神奈川県)	
団体 HP	https://npo-panorama.com/	
助成事業名	働く不安の強いひきこもりや、サポートを必要とする高校生のための支援付き無料職業紹介バイトーン普及事業	
助成決定額	500 万円	
団体の目的と事業内容	孤立・孤独やひきこもり問題に対して、ひきこもってからではなくひきこもる前の予防支援が必要であると考え、居場所提供や相談支援をはじめ、履歴書や面接不要の支援付き無料職業紹介「バイトーン」を社会的孤立リスクの高い高校生やひきこもり経験者を対象に提供している。また、養育困難世帯の小中学生を対象とした放課後の居場所支援を受託運営することで、高校以前から継ぎ目のない継続支援を目指す。	
助成事業概要	若者の無給体験での仕事ぶりや人柄を評価し、採用後も生徒・若者と雇用主双方が当法人からサポートを受けることで職場定着を図り、通常の求人には応募できない方々の雇用を生むことを成果とする。また、交通費負担の難しい生活困窮者には交通費を支給し、当法人業務を有償で手伝う一般社会手前の体験の機会も提供する。この法人独自の就労支援「バイトーン」を当法人で取り組みつつ、他団体への普及にも取り組む。	

24B-1	助成プログラム	一般助成
団体名	特定非営利活動法人 WorldOpenHeart(宮城県)	
団体 HP	http://www.worldopenheart/	
助成事業名	再犯防止と高齢者が安心して暮らすことができるための高齢犯罪者とその家族の相談支援	
助成決定額	300 万円	
団体の目的と事業内容	日本において支援の網の目からこぼれる人々への直接的支援、調査研究、社会啓発活動を行うことを目的とし、犯罪加害者家族への電話相談、報道対応など犯罪加害者家族支援を中心に事業を展開している。さらに、加害者家族支援での経験を活かし、東日本大震災やコロナ禍においても行き過ぎたバッシングや差別に晒される人々とその家族に対する相談や心理的支援を行うなど、幅広く支援している。	
助成事業概要	近年、高齢者による犯罪は増加傾向にあり、事件・事故の影響はその家族にまで及び、再発防止のために家族としてどのような対応をすればよいか、頭を悩ませている家族が後を絶たない。本事業では、高齢加害者の「家族」に焦点を当て、加害者家族の悩みに寄り添い、高齢加害者が再び罪を犯さないために、家族と地域においてどのような支援が求められているのかを検証し、地域に必要な支援体制を構築することによって、再犯予防と高齢者が安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指す。	

24B-2	助成プログラム	一般助成
団体名	認定特定非営利活動法人 キッズドア(東京都)	
団体 HP	https://kidsdoor.net/	
助成事業名	子どもの貧困問題の根本的な解決のための実践的研究と情報発信	
助成決定額	927 万円	
団体の目的と事業内容	<p>貧困や外国ルーツ、教育格差等によって困難な状況にある子どもや家庭を対象に各関係機関と連携しながら学習支援や居場所支援、体験活動の提供といった支援を行うことですべての子どもが夢や希望を持てる社会の実現に寄与することを目的とする。子どもの貧困の解決に向け、学生から若者世代に向けた上記の支援を行うとともに、困窮する子育て家庭の保護者に対しても食糧支援・情報提供・就労支援を行っている。</p>	
助成事業概要	<p>当法人では、支援施策が十分に打たれていない困窮子育て家庭についてWEBアンケート調査を行い、支援のための実態把握を行っている。そうした調査結果はメディアに数多く取り上げられ、困窮子育て家庭の危機的状況に社会的な関心を向けてもらうことにつながる。本助成事業では、これまで行ってきた調査を充実・高度化し、より詳細な分析やアカデミアと連携した研究、困窮子育て家庭の経年変化を追跡するパネル調査を実施する。さらに、これまでの調査実績を総括した「白書」や調査データを蓄積したアーカイブを社会に公開し、啓発イベントを実施することで、行政や企業、社会に向けて支援の必要性を訴えかける。</p>	

24B-3	助成プログラム	一般助成
団体名	一般社団法人 びじっと・離婚と子ども問題支援センター(神奈川県)	
団体 HP	https://npo-visit.net/	
助成事業名	多くの子どもが親子交流支援を受けられるための、小規模親子交流支援団体のサポート体制構築事業	
助成決定額	505 万円	
団体の目的と事業内容	<p>離婚を経て複雑な葛藤のある父母間においても別居親と適切に親子交流が継続され、離婚や別居によって一方の親と離れて暮らす子どもが精神的な健康を保ち成長できるよう、親子のサポートを行う。両親の間に介入し、日程調整や子どもの受け渡し、付き添い等を行う。また、Zoom を活用したオンラインでの交流も全国的に展開している。</p>	
助成事業概要	<p>日本各地に親子交流支援団体は点在するが、支援団体が存在しない地域も数多い。また、個々の団体は小さく、脆弱な体制で運営せざるを得ないのが現状である。離別家庭の子どもが「全国どの地域でも」親子交流支援を継続して受けられるよう、小規模な親子交流支援団体であっても安心安全な支援を行うための事業を支えるサポート体制を構築するため、全国を対象に親子交流支援団体の立ち上げ・運営支援を行う。</p>	

24B-4	助成プログラム	一般助成
団体名	特定非営利活動法人 フェアスタートサポート(神奈川県)	
団体 HP	https://fair-start.co.jp/	
助成事業名	児童養護施設等で暮らす子ども達・退所者の為に施設と企業が連携し地域で就労を支援する体制整備の全国展開	
助成決定額	900 万円	
団体の目的と事業内容	「どんな環境で育っても、全ての若者達が自分らしい“はたらく”を実現できる社会へ」を理念とし、貧困や虐待などの家庭環境を背景にもつ社会的養護施設等の子ども達が 18 歳前後で就職するまでに公平なキャリア教育とチャンスを与えられ、生き生きと活躍できる社会を創出する。就労支援を提供するほか、就職後のアフターフォローも実施する。	
助成事業概要	全国の児童養護施設・自立援助ホーム等に近隣の協力企業を紹介し、双方の連携体制を築くサポートを行い、同時に職員向けにオンラインで就労支援勉強会を開催してノウハウの提供を行うことで、各施設が入所児童・退所者に対して就労支援を実施できる体制を整備し、退所者の早期離職率を改善し社会的養護から自立した若者たちの貧困化を予防する。	

24B-5	助成プログラム	一般助成
団体名	特定非営利活動法人 ひだまり創(岐阜県)	
団体 HP	https://hidamarisou.com/	
助成事業名	要支援・要介護高齢者や認知症高齢者が持つ技術をつなぐ、地域単位でのマッチング支援の仕組みづくり活動	
助成決定額	900 万円	
団体の目的と事業内容	介護支援の中で「長く生きて申し訳ない」「人様に迷惑をかけて情けない」という利用者の声を聴く機会が多く、支えられる側という一方的な支援ではなく支援を受けながらも得意なことでは支える側になれる仕組みづくりの必要性を認識し、介護保険内サービスを実施して生活上の課題を解決しながら介護保険外サービスにおいて高齢者によるものづくり支援や高齢者と地域のやってほしいことのマッチング支援等を行う。	
助成事業概要	要支援・要介護高齢者や認知症高齢者になると、認知症の症状や心身状態の変化によって、本人が社会参加活動をしたくとも、社会との関係性を維持できず、元々つながっていた場から孤立することが多い。そこで、要支援・要介護高齢者や認知症高齢者のできることと地域ニーズをマッチングする支援を地域単位でつくる活動を通し、要支援・要介護高齢者や認知症高齢者になっても「自分の能力を活かして、地域のために何かしたい」という思いを実現できる地域社会を目指す。	

24B-6	助成プログラム	一般助成
団体名	認定特定非営利活動法人 LivEquality HUB(愛知県)	
団体 HP	https://livequality.co.jp/	
助成事業名	公的支援からこぼれる母子家庭のハイリスク層転落防止に重点を置いた、住まいを起点とした地域基盤構築活動	
助成決定額	1000 万円	
団体の目的と事業内容	安定した住まい探しに困難を抱える母子家庭の住まい確保とその後の社会的・経済的自立を目的とする。住まい探しに困難を抱えたシングルマザーの相談を受け、自立に向けた最適の環境として一定品質かつ安価な住居をマッチングして提供する住まい探し事業と、地域の支援団体や医師・弁護士等の専門家、不動産会社等が連携して、居住者の自立に向けた課題解決のための生活支援事業を実施している。	
助成事業概要	従来の公的支援の多くは、虐待や DV 等のハイリスク層に陥ってから繋がる機会を持つが、事件を未然に防ぎ、事態の悪化を食い止めるため、ハイリスク化の手前で介入し、継続的に関わり続けることが不可欠である。そこで、対面・オンライン双方での継続的なアウトリーチ、多機関連携のための調査研究や勉強会を通じた支援体制強化、継続的な伴走支援を実施し、ハイリスク層だけではなく、潜在的に課題を抱え、公的支援からこぼれる母子家庭のハイリスク層転落を防止する住まいを起点とした地域基盤を構築する。	

24B-7	助成プログラム	一般助成
団体名	特定非営利活動法人 アイキャン(愛知県)	
団体 HP	https://ican.or.jp/	
助成事業名	住民主体の多文化共生地域福祉の推進と先進的な事例を波及させる手法開発のための実践研究	
助成決定額	813 万円	
団体の目的と事業内容	アイキャンな人(社会課題に対して「できること」を実践する人)を増やすことで世界中の子どもたちが享受できる平和な社会を作ることを目的とする。事業内容として、教育機関での国際理解教育・探求学習の実施やフェアトレード商品販売促進活動、日本の課題の調査研究等を行っている。さらにフィリピンと協同し、海外研修やスタディツアー、インターンの育成を行うことで多文化共生地域福祉の実現に寄与している。	
助成事業概要	外国人比率が全国的に突出している岐阜県美濃加茂市をモデル地域として、外国人の支援対応ができる人材を育成する。同時に、外国人定住者を含む地域住民の主体形成と組織化を通して、誰もが主体的に地域に参加できる多文化共生地域福祉の推進を行う。また、本活動の事例を他地域に紹介する実践を通して、暗黙知の意識化と言語化を促進する手法を開発する。	

赤い羽根福祉基金 継続助成先団体(3年目)

23A-1	助成プログラム	生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成
団体名	特定非営利活動法人 アクセプト・インターナショナル(東京都)	
団体 HP	https://accept-int.org/	
助成事業名	困窮状態にあり孤立し、犯罪に繋がる恐れのある若者のための緊急居住支援、および相談・生活支援を含む社会定着支援事業	
助成決定額	500 万円	
団体の目的と事業内容	国内外を問わず様々な理由から取り残されている地域や人々に対する人道的支援を実施。特に、社会から孤立し犯罪に巻き込まれ、加害者となった若者に対しての社会復帰、社会定着支援を行っている。どのような環境に生まれても、彼ら自身の生きていく力を育み、人生の主体として希望を持って生きていくことを実現するため事業を実施している。	
助成事業概要	犯罪をした、あるいは犯罪に繋がる恐れのある若者は、生活困窮や被虐待経験、知的障害などの様々な生きづらさを抱えながらも必要な支援に繋がることができずに孤立してしまう状況がある。本事業では、そういった生きづらさを抱える若者に対し、緊急居住支援及び相談・生活支援を行うことで、彼らが孤立することなく犯罪をせずに社会定着することを実現していく。	

23A-2	助成プログラム	生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成
団体名	特定非営利活動法人 チェンジングライフ(大阪府)	
団体 HP	https://changing-life.net/	
助成事業名	自立援助ホームを起点とする包括的シェルター基盤整備事業	
助成決定額	500 万円	
団体の目的と事業内容	親や頼れる大人と同時に、住居(生活拠点)を失った非行少年等の精神的・経済的な貧困を対策し、自立拠点と社会的居場所の創出及び、非行からの離脱と自立しやすい環境づくりに向けた自立支援を目的とする。その中でも、施設不適合や非行等の理由で児童養護施設退所(措置解除)となった少年が児童福祉法の養護の網からこぼれないよう、帰住先がなく、支援の手が届きにくい「問題や課題を抱えた少年」の自立支援に取り組む。	
助成事業概要	自立援助ホームを起点とし、ホームの近所に当法人が自主的にアパートを借り上げ、施設退所後、行き場をなくした子どもたちに一時的な住まいを提供する。また、社会福祉士や弁護士等、官民間わず幅広いネットワークからの SOS にも対応できる緊急一時的任意保護等、民間による包括的シェルター機能を整備し、自立援助ホームの定員や制度の壁でサポートできない子ども・若者の居場所を確保する。	

23B-3	助成プログラム	生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成
団体名	特定非営利活動法人 Community Life(愛媛県)	
団体 HP	http://www.friendly-life.jp/index.html	
助成事業名	生きづらい若者が「学び直し」できる夜間教室開設事業	
助成決定額	500 万円	
団体の目的と事業内容	国内外を問わず援助を必要としている人たちに対して、生活援助・家族支援等に関する事業を行い、彼らの生活の質向上に寄与することを目的とし、児童発達支援及び放課後等デイサービス、外国人のためのソーシャルワークサービス、フィリピンの子どもたちの支援、子ども食堂やフードパントリー、国際理解教育を実施する。	
助成事業概要	夜間中学をモデルとして、週 2 回(原則火曜日・木曜日 18:15~20:45)、中学卒業以上の若者を対象に学び直しのための教室を開いている。個々の習熟度の違いに応じたプリント学習のほか、一般社会の仕組みを知り自立度を高めていくために、公民を通じた学びや、パソコンの練習・調べ学習を組み入れている。生徒と先生、生徒同士の会話が進むように学習内容を話し合う時間や、休憩中にお茶などを飲みながらリラックスしてお話できる雰囲気づくりを心掛け、必要時には生徒から聞き取りをして勉強以外での悩みなどを相談できる体制をとっている。	

23B-4	助成プログラム	生きづらさを抱える若者の未来創出応援助成
団体名	特定非営利活動法人 抱樸(福岡県)	
団体 HP	https://www.houboku.net/	
助成事業名	十分な社会的スキルを得ないまま「高校卒業」する若者たちへ社会参加や就労等の支援を行う事業	
助成決定額	500 万円	
団体の目的と事業内容	経済的困窮状態や社会的孤立状態にある方に対して、自立支援、社会的処遇の改善、地域生活の安定等に関する支援事業を行い、共に生きる社会を創造することを目的とする。炊き出しや衣料提供などの基礎的支援事業から、相談支援事業、自立支援事業、就労支援事業などを実施する。	
助成事業概要	様々な課題を抱えつつも「高校卒業」資格を得た(卒業予定)若者が、十分な社会的スキルを得ないまま、就労もしくは進学先にて短期離職等をし、長期無業状態もしくは引きこもり状態になることに対して、アセスメントを行い、課題を見極め、社会参加や就労体験、就労支援などを行うことにより、高校卒業後の就職も含めた社会参加ができるよう支援する。これにより、若者の引きこもり及び長期化を防止し、将来の 4070、5080 問題の予防を目指す。	

23B-1	助成プログラム	一般助成
団体名	一般社団法人 栃木県若年者支援機構(栃木県)	
団体 HP	https://www.tochigi-yso.org/	
助成事業名	「世界にひとつだけのサステナブルリメイク」事業を通して、8050問題当事者の就労に繋がる出口を作る	
助成決定額	682 万円	
団体の目的と事業内容	地域課題の解決に取り組む新しい社会事業体の支援、並びに人材育成をもって、栃木県における新しい公共づくりと若年者の力を引き出す雇用創造を進めるため、子ども・若者とその家族を支えること、社会の中に子ども・若者のセーフティネットをつくること、子ども・若者を育む地域社会を築くことを目的とし、相談支援、就労支援、学習支援、子どもの貧困対策支援を行う。	
助成事業概要	長期ひきこもりや対外不安等により就労に困難を感じている、社会に居場所を見つけにくい人々が、多様な体験を通して成長し、自立の準備をするための場所を作り出すことを目的とする。家庭における断捨離や分別整理、実家終いの際などに出てくる、「そのまま処分するにはしのびないが置いておくには場所がない」品物を、お客様に対する丁寧なコンサルテーションを重ねながら、コンパクトな作品に加工する。	

23B-2	助成プログラム	一般助成
団体名	特定非営利活動法人 さいたまユースサポートネット(埼玉県)	
団体 HP	https://saitamayouthnet.org/	
助成事業名	ヤングケアラーの子ども・若等を地域で発見し、支えるためのネットワークづくり事業	
助成決定額	1000 万円	
団体の目的と事業内容	①不登校や高校中退、引きこもりを経験した子ども・若者、②障害で生きづらさを感じている子ども・若者、③親や家庭の多様な背景が要因で貧困化し、社会的に排除され、人間としてのアイデンティティ(自尊感情)を持たないまま生きている子ども・若者たちの居場所づくりを目標として設立。困窮層の子ども・若者を対象とした、学習支援、自立・就労支援、居場所づくりに取り組んでいる。	
助成事業概要	不登校、ひきこもり、高校中退、非行、性虐待、DV、家庭崩壊など複合的な困難を抱え、孤立した子ども・若者たちとその家族に対して、さいたま市内・埼玉県内の子ども若者に関わる社会資源が地域住民とネットワークを形成し、ヤングケアラーを発見し、相談につなげ、見守りと適切な対応ができる体制づくりを行う。困難を抱える子ども・若者に寄り添い、安心できる居場所へとつなげる活動を通して、仲間づくりや自立へとつなげていく。	

23B-3	助成プログラム	一般助成
団体名	一般社団法人 SDGs市民社会ネットワーク(東京都)	
団体 HP	https://www.sdgs-japan.net/	
助成事業名	NPO が「誰一人取り残さない SDGs」の達成に向けた活動を他組織と連携して実施するための対話とエンパワメントを重視した調査研究事業とその結果を活用したNPO研修開発事業	
助成決定額	995 万円	
団体の目的と事業内容	国連「2030 アジェンダ」策定過程にも深く関わった日本の NPO/NGO 等の市民社会団体が中心となり、SDGs 達成を目的として立ち上げた。日本政府に向けて政策提言集「SDGs ボトムアップ・アクションプラン」を 2018 年から毎年提出し、国会議員との対話、政府 SDGs 推進本部事務局である、外務省地球規模課題総括課との対話も実施している。	
助成事業概要	①市民活動団体 SDGs全国調査、②課題に関する対話・聞き取り調査、③研修プログラム開発とパイロット実施(①②の結果を踏まえ、全国いくつかの都道府県の間接支援組織とともに、市民活動団体の SDGs取組上の諸課題の解決に向けた研修プログラムを開発。その際、開発された研修を試行し、効果評価を行う)。また、事業が生み出す価値を最大化できるよう、1 年次より事業に伴走しながらの発展的評価について専門家からアドバイスを受けながら事業を進める。	

23B-5	助成プログラム	一般助成
団体名	特定非営利活動法人 多様な学びプロジェクト(神奈川県)	
団体 HP	https://www.tayoumanabi.com/	
助成事業名	不登校の子と保護者を支える居場所運営者の為の研修サイトとプログラム開発、及び地域ネットワーク構築事業	
助成決定額	500 万円	
団体の目的と事業内容	すべての子ども達が豊かな子ども時代を送る土壌を生み出すとともに、子どもの権利を広く認め、多様な価値観を認め合い、一人一人が主体的、創発的に生きる社会づくりに貢献することを目的とする。この実現のために学校外場で学び育つ、いわゆる不登校の子どもやその家庭に対し、子どもの多様な学びの機会と地域の居場所等の情報の提供、各種支援団体の中間支援及びネットワーク形成を行っている。	
助成事業概要	不登校児童生徒は、過去最多の 30 万人超と急増し、約 38%の子どもが相談や支援を受けていない現状がある。不登校児童生徒、及びその保護者に適切な支援を届けるため、フリースクールや教育支援センターなど不登校の子たちが集う居場所の人材育成と地域ネットワークづくりを目的に、研修サイトを活用し、居場所スタッフに特化した伴走支援型研修プログラムの開発研究と、地域ネットワークリーダー育成事業を実施する。	

23B-6	助成プログラム	一般助成
団体名	認定特定非営利活動法人 ビーのびーの(神奈川県)	
団体 HP	https://bi-no.org/	
助成事業名	産前産後の子育て家庭を支えるための地域版セーフティネット創出のための活動	
助成決定額	890 万円	
団体の目的と事業内容	未来を支える子どもたち、主に0～3歳児(乳幼児)とその親(養育者)である子育て家庭が、親の就労状況に関わらず、地域で日常的に過ごせる常設の居場所を地域の中に創出し、多世代、多様な人たちに愛され育まれる社会を創出することを目指し、常設の居場所としての親と子のつどいの広場や、相談活動や情報発信、預かりのコーディネート機能を備えた多機能型の地域子育て支援拠点を運営。また多様な媒体をツールに子育て情報を定期的に発行、配信している。	
助成事業概要	地域で市民が主体となって新生児とその家族を生活視点で受け入れていく場の創設を通じて、専門職(医療や母子保健)と地域市民(日常での生活者)とが接続される場となり、子育てのスタート期を盤石に支えられる体制を整備する。それを通して、親子ともども濃密なケアを必要とする子育てにたくさんの人たちが関われる、全世代参画型総活躍社会の実現を目指す。	

23B-7	助成プログラム	一般助成
団体名	一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ(愛知県)	
団体 HP	https://bridge-nagoya.jp/	
助成事業名	社会との連携モデルによる仕事と治療の両立支援体制を社会システムへと定着させるための基盤づくり事業	
助成決定額	928 万円	
団体の目的と事業内容	がん患者をはじめとする有病者の仕事と治療の両立を支援する活動を行うことにより、病気になっても安心して暮らせる社会を実現することを目的に、病気やそれに伴う治療により心身に変化が生じた患者本人の職業人生の再構築を個人面談・ワークショップ等で支援するだけでなく、企業の受け入れ体制を整え、医療機関とともに医療と労働の情報を共有するための支援を展開することで、働く意欲も能力もある人が自己を最大限に生かして社会の一員でいられる社会を目指す。	
助成事業概要	がんをはじめとする治療の影響で心身の変化を伴う人に対し、医療リテラシーを持つ熟練した就労支援の専門職が、社会に点在するさまざまなステークホルダーと連携するモデルを確立し、社会にその有用性の理解を広げることで、誰もが体調と折り合う働き方を手に入れて、能力を発揮し続けられる社会システムを確立する。	

23B-8	助成プログラム	一般助成
団体名	社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会(滋賀県)	
団体 HP	https://fukushi-design.jp/	
助成事業名	インクルーシブデザイン思考を用いた多分野協働による地域共生社会推進事業	
助成決定額	418 万円	
団体の目的と事業内容	長浜市の地域福祉活動推進を目的に設立。行政や市内の各種福祉団体と連携した地域福祉活動推進事業や、地区社会福祉協議会の活動支援、ひきこもり者の居場所づくり活動、自治会における見守り活動の推進、小地域サロン活動の推進、日常生活支援活動団体の支援、フードバンク活動、地域福祉権利擁護事業、重層的支援体制整備事業などに取り組んでいる。	
助成事業概要	誰もが孤立せず、多様な社会参加が行える地域共生社会の実現に対して、専門家によるアドバイスを受けながら実施する実践プロジェクトを通じ、インクルーシブな視点を持って社会福祉分野とビジネスや教育といった他分野を横断的に行き来し活躍する専門人材を育成する。育成した専門人材と社会福祉協議会、行政が連携して、社会福祉分野と他分野の協働の取り組みを伴走支援する相談窓口の設置を目指す。	

23B-10	助成プログラム	一般助成
団体名	特定非営利活動法人 岡山 NPO センター(岡山県)	
団体 HP	https://www.npokayama.org/	
助成事業名	困難を抱える子ども・家庭の支援に取り組む支援者が持続的に働くためのメンタルケアを含む働く支援者支援のネットワーク形成活動	
助成決定額	423 万円	
団体の目的と事業内容	豊かな市民社会の実現を目指して NPO 法の成立と共に設立。NPO の個別支援(経営、事務の相談、バックオフィス支援)、民民、官民の協働やネットワークの形成支援(災害、SDGs、子ども・家庭支援など)、ボランティアや寄付等の社会参加支援(大学、高校支援など)を実施している。	
助成事業概要	複合した困難を抱える家庭への支援など、困難な現場に向き合う NPO 支援者が精神面や労働環境において多くの課題を抱えていること、また負荷が続く職員のメンタルケアやメンタルヘルスを提供するには個々の NPO は組織も小さく、さらに無報酬のボランティアで活動するリーダーや役員も多いことから、休日の労働環境面でも理解が得にくいことなど、支援の現場には労働環境としての課題がある。そういった状況の改善を図り、困難を抱える子ども・家庭への継続的な支援実現を目指し、支援者のネットワーク形成とその機能整備に取り組む。	